事業別環境影響フロー【建築物】

事業の段階	事業において想定される配慮	環境への影響	環境配慮の内容 （要綱の環境配慮事例）	要綱の個別配慮事項番号
計画に係る環境配慮	場所選定における配慮	環境負荷の増加 自然環境の改変	□複数場所，路線の検討 □希少動植物の生息地の回避 □貴重な自然環境地域を回避 □希少動物の営巣時期に配慮した工事計画	大①，自①
		文化遺産の消失	□指定文化財や埋蔵文化財包蔵地等の回避	景②
	交通流の円滑化	大気汚染 地球温暖化	□出入口の複数化 □駐車場の適正配置，迅速誘導の案内板の設置	大②
工事中に係る環境配慮	工法等に係る配慮	環境負荷の増加	□一時期に負荷が集中しない工事計画策定	大⑨
	工事全般	自然環境の改変	□貴重な動植物の移動・移植	自①
	土工（盛土・切土）	水質汚濁	□汚水・濁水の発生を抑えた工法の検討 □工事区域の仮締切，切り回し水路の設置 □発生する汚水の処理 □沈砂池，調整池の設置	大⑦
	地盤改良	土壌汚染・地下水汚染	□地盤改良における害のない薬剤の使用	大⑧
	廃棄物の発生	廃棄物の増加	□廃棄物の発生を抑制した事業計画の策定 □廃棄物の再資源化，適正処理等 □生ごみ等のコンポスト化，伐採木等の林地還元 □県内リサイクル製品の積極的な使用 □再生骨材等の利用促進 □建設発生土の発生抑制，適正処理等	廃①，廃②，廃③，省④
	建設資材	資源・ｴﾈﾙｷﾞｰ消費量増加		
	型枠材の使用	樹木伐採（地球環境）	□型枠の反復使用，再利用 □金属型枠の使用 □間伐材の有効利用	地③
	建設機械等の稼働等	騒音・振動等	□騒音・振動防止に配慮した工法の実施 □低公害型の建設機械等の採用 □防音壁，防音シート等の仮設 □工事車両の走行ルートの分散化	大⑥
		大気汚染 地球温暖化	□アイドリングストップ，急発進の抑制等 □経済運行速度の遵守	地④
供用に係る環境配慮	周辺環境への配慮	騒音・振動等	□緩衝緑地の設置	大③
		水循環機能の悪化 資源・ｴﾈﾙｷﾞｰ消費量増加	□処理水の中水利用設備の導入 □雨水貯留施設や中水道設備の導入 □雨水や循環水を修景用水として利用 □池の水などの循環利用 □浸透ますの設置 □透水性舗装や透水性側溝の採用	大④，大⑤，省③
		生活空間の悪化	□ポケットパークの設置 □地場産素材，天然素材の活用 □在来樹種による植栽	快①，快②
		電波障害，日照阻害，風害（生活空間の悪化）	□建築物の配置，高さの検討	快③
		生活空間の悪化	□ホルムアルデヒド等の健康被害を起こす物質を使用している資材使用の回避	快④
		生活空間の悪化 歴史的景観の破壊	□構造・形態・色彩等は風土・歴史等に配慮	景①
		資源・ｴﾈﾙｷﾞｰ消費量増加	□自然採光，窓側電灯配線のライン化等 □太陽光発電，省エネ型照明の設置等 □地域冷暖房システムの採用 □断熱材の使用 □二重サッシ，複層ガラス，断熱ドアの採用 □熱線吸収ガラス，熱線反射ガラスの採用	省①，省②
		地球温暖化 資源・ｴﾈﾙｷﾞｰ消費量増加	□敷地，屋上，壁面の緑化 □代替フロン，ノンフロンの採用	地①，地②，省②

（略号）
大：大気環境，水環境の保全
廃：廃棄物の発生抑制，リサイクルの推進
地：地球温暖化の防止
省：省資源，省ｴﾈﾙｷﾞｰの推進
自：自然環境の保全
快：快適な生活空間の創造
景：歴史的景観の保全，文化遺産の保護